

# 留 学 報 告 書

記入日:2014年6月28日



所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部／経営学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ユタ大学 現地言語: The University of Utah
留学期間	2013年8月～2014年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	ビジネス学部
帰国年月日	2014年5月30日
明治大学卒業予定年	2015年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8月下旬～12月下旬 2 学期:1月上旬～4月下旬 3 学期:5月中旬～7月下旬
学生数	約 30,000 人
創立年	1850 年

留学費用項目	現地通貨(\$)	円	備考
授業料	\$22,000	2,200,000 円	
宿舍費	\$6,000	600,000 円	大学内のアパート滞在
食費	\$4,000	400,000 円	週 12 回の Meal Plan と週末の食事代
図書費	\$700	70,000 円	教科書 5 冊
学用品費	\$50	5,000 円	ノートやバインダーなど
教養娯楽費	\$250	25,000 円	環境プロジェクト参加費
被服費	\$100	10,000 円	
医療費	\$0	0 円	
保険費	\$2,200	220,000 円	形態: AIU 海外旅行保険/寮・ホームステイプラン
渡航旅費	\$3,000	300,000 円	
雑費	\$500	50,000 円	
その他	\$1,200	120,000 円	2 週間のホームステイ費と授業料
合計	\$40,000	4,000,000 円	-900,000 = 3,100,000

## 渡航関連

**渡航経路:** 往路: 成田→ロサンゼルス→ソルトレイクシティ  
復路: ソルトレイクシティ→シアトル→成田

渡航費用

チケットの種類 往復  
往路 \_\_\_\_\_  
復路 \_\_\_\_\_  
合計 300,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

京王観光、地球の歩き方「アメリカ」

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学キャンパス内の学生アパート

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 )

3) 住居を探した方法:

留学先機関が斡旋

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学構内の寮やアパートに入った方が、安全面で良い。また、基本的に大学構内に宿泊している学生が多いので、すぐ友達に会えたり、ルームメイトと話したりと、コミュニケーション面でも非常に良かった。しかし相部屋の寮の場合、夜遅くまで勉強したり、朝早起きしたりする場合に気を遣ってしまうと友人が言っていた。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった  
 利用した: 海外保険機関と提携している病院に行ったため、キャッシュレスで診療を受けられた。

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生用の窓口ももちろんありますが、留学派遣機関の窓口もありました。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

基本的に安全な町だったため、問題なく過ごせた。雰囲気や危なそうな場所は避けた。盗難などの犯罪には巻き込まれなかった。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

基本的に大学構内では Wi-Fi 接続が可能だった。しかし、アパートの部屋の Wi-Fi は接続が悪かったので、日本から持参した有線 LAN をつなげて利用していた。また、大学にはコンピュータールームがたくさんあり、ノートパソコンを無料で借りることもできる。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

キャッシュパスポート(Money T Global)を持って行き、食費などの最低限のお金は両親に日本からチャージしてもらった。私的な出費の時は自分のクレジットカードを利用していた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

英和英辞書(紙・電子)→教授に上手く交渉すれば紙辞書ならテストで使わせてもらえる。  
耳かき、爪切り→日本製品を使った方が良い。  
ポケットティッシュ→ポケットサイズのはあまり見かけない。

## 進路について

1) 進路	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など	
ありません。	
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)	
現在、就職活動中です。	
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)	
現在留学中で就職活動はまだ行ってないが、アメリカやカナダに留学する学生は11月上旬頃にボストンで行われる「ボストンキャリアフォーラム」に参加することを勧める。アメリカの大学に4年間通う学生や意欲の高い留学生在が日系企業や外資系企業に就職するための大きなイベントであるため、英語が話せるということが前提で行なわれる就職活動を経験したり、意識の高い留学生の友達ができたりするので、非常に有意義である。もちろん ES と面接をクリアすれば内定がもらえる。知り合いの留學生の中にも大手企業からいくつか内定をもらっている人がいた。	
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。	
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。	

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 16 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
MKTG 3010 - Principle of Marketing	マーケティング基礎
科目設置学部・研究科	Marketing
履修期間	Fall Semester
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回
担当教授	Ian Skurnik
授業内容	マーケティングの基礎を講義形式で学ぶ。数回ゲストスピーカーが講演にきた。またグループワークでマーケティングの知識を絡めたゲームをする。
試験・課題など	
感想を自由記入	この授業は春学期に International Marketing を取るための Prerequisite(必須条件科目)だったので受けた。とても優しい教授で毎週 Office Hour の時間に質問に行っていた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
IS 2010 - Computer Essentials		コンピュータ基本	
科目設置学部・研究科	Information System		
履修期間	Fall Semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回		
担当教授	Allison Kristina Matheson		
授業内容	Office 2013 を使って、Word、Power Point、Excel、Access の使い方を基礎から応用まで学ぶ。		
試験・課題など	毎回基本的な操作や語彙問題が課されており、それを期日までに終わらせて提出する。		
感想を自由記入	Office の操作が詳しく勉強できるので、非常にためになった授業。分かり易く授業が進むので簡単だった。課題は毎回の授業で操作をしっかり学べれば、大変ではない。用語に関するクイズは少し難しかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
LDRSP 2040 - Leadership in Community		コミュニティにおけるリーダーシップ	
科目設置学部・研究科	Leadership		
履修期間	Fall Semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ディスカッションとグループプロジェクト		
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Linda V Poulson Dunn		
授業内容	毎回リーダーシップに関するリーディング課題を事前に読み、その著者が毎回授業にゲストスピーカーとして招かれる。ゲストスピーカーの話聞き、最後にディスカッションを行う。また授業と同時進行で町のコミュニティと地域活性化プロジェクトを合同で行う。		
試験・課題など	毎回の授業までに 10 ページから 30 ページの予習があり、授業の感想をレポートにして毎週提出。記述形式の試験が2回行なわれる。学期末にはプロジェクトについてのグループ毎にプレゼンテーションを行う。		
感想を自由記入	授業自体がゼミのように少人数なので、クラスメイトとも非常に仲良くなった。毎回リーダーシップに関する様々な見方を学ぶことができる上、プロジェクトでは自分たちが主体的に計画し、進めて行く実践的なスタイルなので、非常に新鮮で興味深い授業だった。課題は多かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
ESL 1040 - Grammar & Editing		ライティング基礎	
科目設置学部・研究科	English Second Language		
履修期間	Fall Semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回		
担当教授	Wendy L Coyle		
授業内容	ライティングに必要な知識や基礎から応用までの文法事項を学習する。クラスは講義形式だが、常に生徒が質問をしたり意見を言ったりする活発な授業。		
試験・課題など	毎回文法問題が 20 問から 50 問くらい課される。教授の定めたテーマについてライティングの課題が2回出る。		
感想を自由記入	他の授業でのライティングに必要なだと感じて取った授業。ライティングをする上で必要な知識を学ぶことができた。しかし、基本的な文法事項のところは既習事項が多かったため、非常に簡単だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
BUS 2900 - International Business		国際経営論	
科目設置学部・研究科	Business		
履修期間	Spring Semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式・グループワーク		
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回		
担当教授	Paul Joseph Dowling		
授業内容	International Business についての基礎を学ぶ。経営戦略を学ぶというよりは、国際ビジネスに関する組織や流れを中心に授業は進む。数回ゲストスピーカーが講演に来る。4 人 1 グループでビジネスプランを作る課題がある。		
試験・課題など	強制ではないが、毎回 30 ページから 50 ページの予習をした方が良い。 課題は 2 回ある。 1 つのビジネスプランについて 4 回に分けてグループで取り組み、提出する。 中間試験が2回と期末試験が1回ある。		
感想を自由記入	国際的な視点でビジネスを学ぶ授業の中では基礎のクラスではあるが、ビジネス専攻だけでなく国際関係を専攻している学生も多く履修しており、様々な国から来ている学生とディスカッションをしたり、グループワークをしたりすることができるので非常に面白い授業。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
MKTG 4840 - International Marketing		国際マーケティング論	
科目設置学部・研究科	Marketing		
履修期間	Spring Semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式・ディスカッション。グループプロジェクト		
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回		
担当教授	Paul Joseph Dowling		
授業内容	Global Marketing に焦点を置いた授業で、授業形態は講義形式ではあるものの常にディスカッションがある。学生の多くが企業で働いている人であるため、グループワークでも非常に刺激を受けられる。全体で 3 回、教授の定めたケースに関して、3 人 1 グループで市場分析をし、ターゲット市場を定め、マーケティングプランを提出し、その後クラスでディスカッションをする。		
試験・課題など	強制ではないが毎回 30 ページから 70 ページの予習をした方が良い。 課題は 2 回ある。 マーケティングプランを3回提出。 中間試験が 2 回と期末試験が 1 回ある。		
感想を自由記入	この授業は MKTG 3010 - Principle of Marketing で C-以上の成績を取らなければ履修出来ない。この授業を取ることは留学の目的の一つでもあり、マーケティングの基礎知識を学ぶというよりは、実際の企業のグローバルマーケティングの例を挙げ、それに関してディスカッションや講義が行なわれる。		

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>	<b>履修した授業科目名(日本語):</b>
COMM 3680 - Advertising Media Analysis and Planning	広告メディア分析とプランニング
<b>科目設置学部・研究科</b>	Communication
<b>履修期間</b>	Spring Semester
<b>単位数</b>	3
<b>本学での単位認定状況</b>	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
<b>授業形態</b>	ディスカッション・グループワーク
<b>授業時間数</b>	1週間に 80 分が 2 回
<b>担当教授</b>	Kenneth S Foster
<b>授業内容</b>	完全に実践形式の授業で、クラスに2つの企業からビジネスプランの作成を依頼されていて、いくつかのグループに分かれ、市場分析をし、依頼企業の設定したターゲットに対して、広告を中心としたマーケティングプランをプレゼンテーションする。
<b>試験・課題など</b>	試験はないが、4 回に 1 回くらいの割合で必要な知識の確認や授業の貢献度を紙に書き、授業内で提出する。 毎回定められた課題はないが、グループの内で調査をしたり、依頼企業を訪問したりする。
<b>感想を自由記入</b>	このクラスには課題とされる教科書もなく、必要な知識は授業の合間に少し教えてもらえるが、ほとんどが学生による市場分析とマーケティングプランの作成である。日本ではなかなかないスタイルの授業で非常に刺激を受けられた。

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>	<b>履修した授業科目名(日本語):</b>
THEA 1033 - Acting I for Non Majors	演技 I (初級)
<b>科目設置学部・研究科</b>	Theatre
<b>履修期間</b>	Spring Semester
<b>単位数</b>	3
<b>本学での単位認定状況</b>	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
<b>授業形態</b>	アクティビティ
<b>授業時間数</b>	1週間に 80 分が 2 回
<b>担当教授</b>	Bill Poore
<b>授業内容</b>	名前の通り、演技の授業。毎回 25 人弱の学生で即興劇や短い台本を用いての演劇を行なう。半期の中で1回の独劇と1回の2人1グループによる演技披露が成績に大きく関わる。
<b>試験・課題など</b>	大学内やキャンパス外で行なわれている舞台を 2 回観て、その感想をレポートとして提出。期日までに一人芝居とグループ演技の台詞を覚えるという課題もある。試験は中間試験が1回のみ。
<b>感想を自由記入</b>	日本の大学ではなかなか見かけない授業を半期の中で一つ受けたいと思い、取った授業の一つ。即興劇など緊張することもあるが、クラスの規模が小さく、ほとんどの学生が明るいので、非常に楽しい。友達も増える上、発音や表現力の勉強にもなる。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2013年 1月～3月	TOEFL の勉強と受験。 留学派遣期間のカウンセラーの方と話し合い。
4月～7月	留学先大学から合格通知が届く。 TOEIC の勉強と受験。 明治大学の就職キャリアセンターで留学生の就職活動について相談する。 明治大学国際事務室のカウンセラーの方と留学中の勉強や生活に関するアドバイスをもらう。
8月～9月	初めの 2 週間は短期語学プログラムに参加し、ホームステイをする。 その後キャンパス内のアパートに移り、秋学期が始まる。 平日は授業の予習復習に追われ、週末はパーティに行ったり、スポーツをしたりして楽しむ。
10月～12月	秋休みには大学が提供している環境プロジェクトに参加し、キャンプに行った。 秋休みの終わりごろにホームシックを経験する。ボストンキャリアフォーラムに参加する。授業も中間試験や課題、期末試験などが重なり、さらに忙しくなる。
2014年 1月～3月	春学期が始まり、ディスカッションやアクティビティ中心に履修登録をする。 グループワークが多いため、発表やディスカッションの準備が中心になる。
4月～7月	学期も終わりに近づき、中間テストやクラスの課題、グループワークなどで忙しくなる。帰国後のことを少しずつ意識し始める。 (就職活動・卒業論文・後期の授業履修など) 5 月の上旬で春学期の授業が修了し、アパートから出る。 アメリカの西海岸地域の大学や観光スポットを約 1 ヶ月かけて旅行し、帰国。 6 月中旬より就職活動開始。
8月～9月	
10月～12月	
2015年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

<b>留学しようと決めた理由</b>	高校生の時から将来は海外で働き、起業したいと思っていました。そのステップとして大学1年生で明治大学の短期留学プログラム IBP San Joseに参加し、多くの刺激を受けました。その経験も含め、海外の学生と交流し、海外の大学で勉強したいという強い意志があったため、留学を決めました。
<b>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</b>	留学をするために最も大きな壁は TOEFL(IELTS)だと思います。私はもともと英語が得意ではなかったため、人一倍英語の勉強に時間をかけました。TOEFL 対策で大切なのは、モチベーションを高く持ち続けることです。英語をすらすら話している自分の姿を想像したり、ゼミの英語が得意な学生や留学生と交流したりすることで、モチベーションを高めていました。息抜きももちろん必要ですが、息抜きには面白い海外ドラマを観たり、好きな洋楽を聞いたりしていました。また留学の成果を図る指標として、TOEIC の受験もした方が良くと思います。
<b>この留学先を選んだ理由</b>	ビジネス学部にも所属することが第一の条件であり、中でもレベルが高く、なるべく安全な地域を選びました。ユタ大学はソルトレイクシティという非常に治安の良い場所に位置しており、他の大学と比べて学費も安かったため、この大学に決めました。
<b>大学・学生の雰囲気</b>	大学のキャンパス内は特に治安が良く、深夜に1人で外を歩いても基本的に安全でした。キャンパスにはバスケットボールコートやサッカー場、ジムを始め、ボーリング場や卓球台、ビリヤード場など息抜きのための施設が多くあります。また、学生は常に明るく、会話が絶えません。授業中も活発に質問が出て、毎回有意義な授業を受けられます。一方で図書館に行くとき集中して勉強している学生が多く、勉強と遊びをしっかりと区別している印象が強く受けられました。
<b>寮の雰囲気</b>	アパートにはキッチンがあったため、週末に友達を招いて夜ご飯を一緒に食べたり、時には日本語を学びたい学生を集めて日本食パーティを開いたりしていました。また、スイートメイトがアパートのリーダーだったので、様々な交流イベントに誘ってもらいました。
<b>交友関係</b>	大学が始まる最初のオリエンテーションの期間に留学生向けの交流会が多く開かれていました。留学当初は他の国からの留学生と交流する機会が多かったです。様々なイベントや活動に参加する内に友達は増えましたが、後半になってくると友達を増やすというよりも、仲の良い友達数人と過ごすことが多くなりました。また、週末は特にスポーツをする機会がとても多く、サッカーやバレーボール、バスケットボール、野球を通して多くの友達ができました。
<b>困ったこと、大変だったこと</b>	最初の頃は、友達と遊ぶ時間と授業についていくための予習復習の時間のバランスを取ることに苦労しました。友達を増やしたいという思いが強い反面、授業にもついていけるように準備をしなければいけなかったため、平日と休日共に、勉強時間を取るのに非常に苦労しました。2、3ヶ月経過すると、時間のメリハリもつけられるようになり、スポーツや交流会を通して多くの友達と過ごしました。
<b>学習内容・勉強について</b>	私はビジネスを専攻していました。秋学期(前期)は講義形式の授業が多かったのですが、積極的にオフィスアワーを利用して、教授に質問に行っていました。春学期(後期)はほとんどグループワークやアクティビティ、ディスカッションの授業を取りました。積極的に発言できず、ディスカッションについていくことができないことも多くありましたが、勇気を出して何か言えば、学生は良い反応をしてくれました。また授業内で日本のことを取り上げられ、質問されることもありました。勉強については、授業ごとにかかなりの量の予習復習をしなければいけません。課題の量も多いので大変でしたが、その分毎日が充実していましたし、土日の開放感はなかなか味わえないものだと思います。
<b>課題・試験について</b>	毎日 30 ページ以上のリーディングが常にありました。また試験前やグループワークが長引くときは夜 2 時頃まで図書館にいることもありましたが、基本的に私は夜遅くまで起きていることが苦手なので、朝早起きして勉強していました。試験に関しては、授業によると思いますが、教授と親しくなると上手く交渉をすれば、試験中に紙辞書のみ使用させてもらえることもありました。日本の大学の授業よりも課題や試験の指示(シラバスも含め)が圧倒的に詳細に記載されているので、量は多いですが、試験勉強は比較的しやすかったです。
<b>大学外の活動について</b>	頻繁には大学外で活動していませんでしたが、孤児院の子供達との交流や地元の家具屋の大掃除を手伝うボランティアに参加しました。

留学を志す人へ	英語を話せるようになりたいという理由で留学する必要はないと思います。留学をしなくても、英語を流暢に話す学生は日本に多くいます。では、なぜ留学するのか。私にとってその理由は「人」でした。私はアメリカに留学したので特に様々な国から来ている人と会い、自分より多くの努力をしている人がどんな環境で育って、どんなことを目指しているのかを知りました。私が本気で留学を志す人たち、または留学に行くことが決まっている学生のみなさんに対して伝えたいことは、留学はみなさんが想像している以上に遥かに楽しいです。人生で経験したことがないくらい充実していて、たった数ヶ月で一生大切にしたいと思える友達に巡り会えます。これは留学に行っただけで初めて分かることです。ぜひ諦めずに挑戦し続けてください。
---------	--

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	予習	授業	予習	授業	睡眠	スノボ	睡眠
	授業	予習	授業	予習	予習	スノボ	予習
午後	予習	授業	予習	授業	予習	スノボ	予習
	ジム	日本語講師	ジム	日本語講師	運動	スノボ	スポーツ
夕刻	復習	復習	復習	スポーツ	友達と遊ぶ	友人と談笑	スポーツ
夜	ギター	勉強	ギター	勉強	友達と遊ぶ	睡眠	友人と談笑